

目指す子ども像 ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子ども



東目屋地区コミュニティ・スクール通信



第4号 平成29年5月12日 東目屋小・中学校 文責(佐藤)

地域とともにある学校づくり

平成29年度
第1回東目屋中学校区

コミュニティ・スクール運営連絡協議会

4月24日(月)にCS(コミュニティ・スクール)運営連絡協議会が行われました。今回は、協議会に先立って18:00からCSや一貫教育が専門である青森中央学院大学の高橋興先生に1時間講演をしていただきました。講演には協議会委員の他に保護者、教員も含めて合計26名の出席者がありました。

高橋先生からは、小中一貫教育の成功の鍵は教職員の意識改革(9年間を見通した指導や考えさせる、話し合わせる授業づくり)が必要である

こと、またCSについては少子高齢化が進行するなかで、地域や保護者が学校と関わりを持ちながら具体的に行動していくことが大切であるということをお話いただきました。

その後、19:00過ぎから運営連絡協議会を開催しました。今年度最初の会議ということで、小・中

高橋興先生の講演に
耳を傾ける出席者



平成29年度 東目屋中学校区コミュニティ・スクール 運営連絡協議会委員(敬称略)				
小学校			中学校	
1	笹谷 哲	総振協会長・連合町会長	西澤 敏朗	東目屋地区民生委員協議会会長
2	三浦 勇二	児童館長	佐藤 英樹	公民館長
3	吉谷 聡仁	東目屋地区主任児童委員	藤田 一恵	東目屋青少年育成委員長
4	佐藤 一人	小中学校評議員	桑田 勝廣	中学校同窓会長
5	田澤 裕	小学校評議員	繁田 昇	中学校評議員
6	竹内 洋介	小学校PTA会長	笹谷 哲人	中学校PTA会長
7	前田 鉄昭	校長	坂田 清人	中学校PTA役員
8	鎌田 悟	教頭	佐藤 浩一	校長
9			須郷 祐一	教頭

学校の校長よりそれぞれの学校経営方針について説明があり、それについて質疑応答が行われました。主な質問と回答を以下に掲載します。

Q「小・中学校の教員の交流も行うのか？」

A「それぞれの学校に出向き、授業参観や実際に協同で授業を行う乗り入れ授業も実施したい」

Q「小中一貫教育と今までの小中連携教育と具体的にどのように変わるのか？」

A「連携教育では情報交換を主としてつながりを深めていくが、一貫教育では情報交換の他に系統性を意識した教育活動を行っていく。小学校での指導をふまえて、継続していくことや切り込み方を変えて更に高い段階を目指すこと、教科指導では中学校の内容を見越して小学校で先取りした指導を行うことなどを考えている」

Q「西目屋小学校も一緒に動きをしないといけないのでは？」

A「一貫教育の対象校は東目屋小と東目屋中であるが、一緒に活動した方がよい場面では必ず声をかけるようにし、可能な範囲で一緒に活動していけるようにしたい」

第2回運営連絡協議会は9月26日(火)、9月までの取組状況について審議していただく予定になっております。

地域総出で資源回収

4月23日(日) 東目屋地区PTA協議会の呼びかけのもと資源回収活動が行われました。当日は小雨の中での活動でしたが、保護者、教職員、児童生徒も含めて大勢の方が参加してくれました。

午前6時頃から7時過ぎまでの活動でしたが、トラックを提供してくださった方も含めて皆さんご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。



収益金の内訳

紙類(新聞、雑誌、ダンボール)	アルミ缶	衣類	合計
13,590 kg	400 kg	150 kg	
88,660 円	10,000 円	150 円	98,810 円

創立70周年記念 よさこいソーラン 小中一貫教育システム

小中合同運動会(5/28)に向けて



現在、中学校では運動会で披露するよさこいソーランの振り付けについて生徒全員の合同練習を行っています。

今年の小中合同運動会は中学校の創立70周年記念ということで地区PTA協議会が歌手の高瀬まみ(弘前市出身)さんに当日の『津軽甚句』『よさこいソーラン』の歌唱を、AOMORI 花嵐桜組の小野郁子さんにはソーランの振り付けと踊りの指導について交渉していただき、了解を得ることができました。

お昼休みのアトラクションとして行う予定ですので、保護者だけでなく、地域の皆さんもたくさん中学校グラウンドまでおいでください。

農園 人工授粉 小中学校合同作業

5月8日(月)

東目屋小学校、西目屋小学校

東目屋中学校 りんご栽培学習

東目屋中学校61名と東目屋小、西目屋小学校それぞれ5・6年生合わせて32名の児童生徒と一緒にりんごの人工授粉作業を行いました。最初にJAつがる弘前目屋支店の工藤さんから各班ごとに説明を受け、作業に取り掛かりました。農園はまだ主力品種の「ふじ」の花は咲いていなかったもので、咲き始めていた「玉林」と「ジョナ」について授粉を行いました。班は4つあり、担当するりんごの樹が割り当てられており、それぞれの班で中学生が小学生にやり方を教えていました。

農協目屋支店工藤さんの説明



農園に関する小中学校合同作業は今後6月5日に摘果、11月2日に収穫を予定しています。

